

1. 開催年月日 平成 26 年 7 月 18 日 (金) 13 時 30 分～15 時 30 分
2. 開催場所 岐阜県可児市広見七丁目 90 番地
株式会社ケーブルテレビ可児 多目的ホールB
3. 出席委員数 4 名 (欠席 4 名)
4. 事業者側出席者数 3 名
5. 議 題 1. 番組試聴および審議
2. 通常番組について
6. 審議内容

1. 番組試聴および審議

次の 2 番組について試聴し、審議を行った。

(1) 7 月 10 日 (木) 11:20～

可児市提供「塚本明里のあかりい話 ♪」(収録)

- ・聴覚だけのメディアとして明里さんの個性や魅力を生かしきれているのか、企画の内容と明里さん個人のバックグラウンドがマッチしているのか疑問に思った。放送という観点から、彼女がパーソナリティを務めることでどんな魅力があり何を訴えられるのか検討すると、効果的にメッセージが届くのではないかと。頑張り屋さんなところが、リスナーの力になるような企画にできると良いと思う。
- ・広報番組で若い女性が二人で市内を案内するのは好印象。BGMを話題によって変え、メリハリをつけると効果的ではないか。
- ・聴いているだけでは障害があると分からないが、体調が悪い時の収録はどうしているか。市内の名所など、体調が良いときに私も車椅子で出かけてみようということは言えないのか気になった。
- ・麻酔の効きが良くないときは脱力状態で収録し、普段も話題ごとに休憩をとりながら収録している。明里さんはラジオで発言したことは実現させようという目標があり、車椅子で出かけた写真を Facebook に投稿してラジオと連動させている。
- ・明里さんはファンが多く聴く人は多いのではと思った。ラジオと SNS と広報誌とコラボさせている可児市の取り組みは注目したい。台本があればケーブルテレビでも活用できる。
- ・広報の内容からいくつも話題を出していたが、多すぎて印象が薄い。数を絞って掘り下げた方が印象深い構成になるのではないかと。

(2) 7月12日(土) 14:00～

「モコモコグラフィティ」

パーソナリティ：まーしー、ゆーこ

- ・パーソナリティのスキルが高く番組の構成も良い、雰囲気も好まれてファンの多い番組なのでは。しかし、それだけに聴き手は広域放送の番組と比較することになる。コミュニティ放送の独自性を出す手法としては良いとも言い切れない。
- ・地元の方なら、少しローカルリティがあるといいのでは。
- ・素人の枠から出ているパーソナリティだと思った。飾っている話し方が気になる。メールの紹介も面白いが、特定のリスナーとのやりとりに話題が偏ると番組に入りづらく、引いてしまう。

2. 通常番組について

- ・台風が接近している時、「御嵩町役場からのお知らせ(台風状況)」が放送に入った。運転中で通行止めを心配していたので、情報があってとてもありがたかった。
- ・「トライアングルトーク」はパーソナリティの人数が多いのに軽妙で声が重ならず、楽しい会話をしてくれるのでいつも楽しく聴いている。
- ・FMからは災害には非常に有力という声も多く、行政側にも大切だという認識があるので、認知度を高めるためのPRが必要。

以上の意見が出され、全員承知した。